

令和4年度単位老人クラブ新任会長研修会 事例発表
「新町シニアクラブ結成と会員勧誘の工夫・取り組み」

福津市シニアクラブ連合会
新町シニアクラブ会長 松原秀治

☆ 福津市について

福津市は福岡市と北九州市の間に位置し、近くに初詣参拝者が大宰府天満宮について県内2番目に多い宮地嶽神社があります。

風光明媚で海の幸、山の幸に恵まれた、とても住みやすいところと言えます。

☆ 福津市新町について

平成17年1月に旧福岡町と旧津屋崎町が合併し、福津市が誕生しました。
新町は合併前の津屋崎町新町区で、役場をはじめ郵便局、農協に商店街や旅館、海水浴場などもあり、いつも大勢の人々で賑わう津屋崎の中心的な区でありました。
ところが、現在では歴史的建造物である津屋崎千軒民俗館「藍の家」を中心にして東は地域の憩いの場「なごみ」、西は海の安全を守る「波折神社」の間に位置する世帯数147軒、高齢者122人、高齢化率42%と高齢化が進む町となりました。

☆ 新町シニアクラブの誕生

今から45年前の昭和52年に、新町区1組と2組が高齢者同士で支え合い、楽しく安定した生活を送れるようにと、それぞれが老人クラブを発足し活発に活動をしておりました。平成22年から28年ごろにかけて高齢化に伴う会員の減少が著しく、役員不足もあり解散の危機となりましたが、老人クラブの必要性を理解される方々の努力により、平成29年に1組、2組合同の新町シニアクラブが発足いたしました。発足までには大変苦勞いたしました。最終的にはやはり地域の方々との繋がりがいかに大切かを知ることとなりました。

☆ 新町シニアクラブの活動

新町シニアクラブは会員の親睦を深め、仲間作り、健康作り、講座、音楽鑑賞など年に6回程度の事業を行い、役員は高齢者宅を訪問して声かけなどで安否確認し色々な生活支援を行っています。

1. 仲間作りでは、会員勧誘の工夫と取り組みにより推進しています。
2. 健康作りでは、海岸ウォーク、グラウンドゴルフ大会、スカットボール大会などを開催しています。
3. 生活支援では、特に一人暮らしの高齢者宅を訪問して、声かけ、話し相手や毎月の分別収集でのゴミ出しの手伝いなどを行っています。
4. 奉仕活動では、海岸、波折神社の清掃、公園の草刈りなどを行っています。

☆ 会員勧誘の工夫と取り組み

1. 年会費を安くし、夫婦で入会しやすいようにしています。
2. 行事参加費を安くし、気軽に参加できるようにして、終了後はお茶や食事をしながら親睦を図り、楽しく過ごすことで絆を深めることにしています。
3. 行事を行う際の案内は、戸別訪問し会員にその趣旨と内容について説明をしたうえで、参加のお願いをするようにしています。
なお、行事への参加はあくまでも個人の自由で決して強制はしないということを理解してもらえよう努力しています。
4. 会員と役員が連携を取り、会員自らが行事の参加や未加入者に対しての呼びかけ、及び勧誘を積極的に行っています。
5. 役員は、会員の協力と期待に応えることができるよう、常に会員の声に耳を傾けるように心掛けています。
6. 会員の勧誘も大切ですが、皆が入りたいと思う魅力あるシニアクラブにすることを全員で考え、作って行きたいと努力しています。

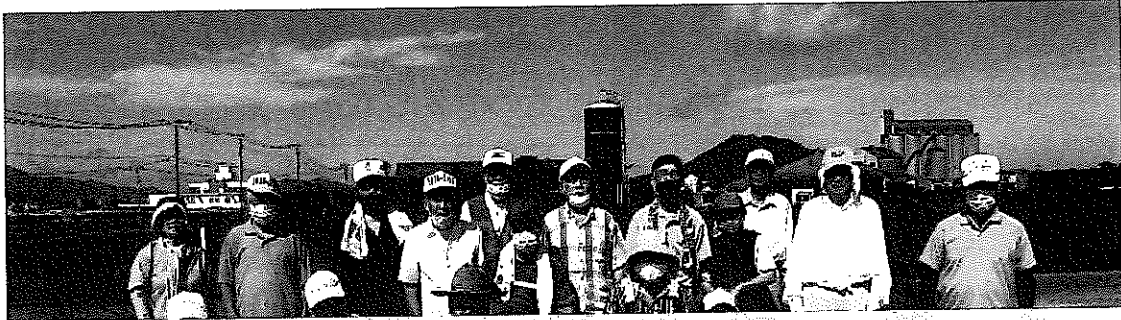
☆ 新町シニアクラブ会員数の推移

年度	会員総数	男性	女性
平成 26 年度	27	11	16
平成 27 年度	23	8	15
平成 28 年度	18	8	10
平成 29 年度	37	17	20
平成 30 年度	72	30	42
令和 元 年度	74	28	46
令和 2 年度	78	31	47
令和 3 年度	80	34	46
令和 4 年度	75	31	44

☆ 新町シニアクラブの今後の課題

1. 行事開催の日時、場所の確保……現状、公民館なし
2. 行事計画の工夫……会員に興味を持っていただく企画の提案
3. 経費の確保……会員増加による経費増加の問題とその確保
4. 未加入者に対する勧誘活動……新町区全員の加入を目指す
5. 会員への気配り……気楽に声を掛け合える関係作り
6. 魅力あるシニアクラブ作り……他地域との交流や地域の行事への参加

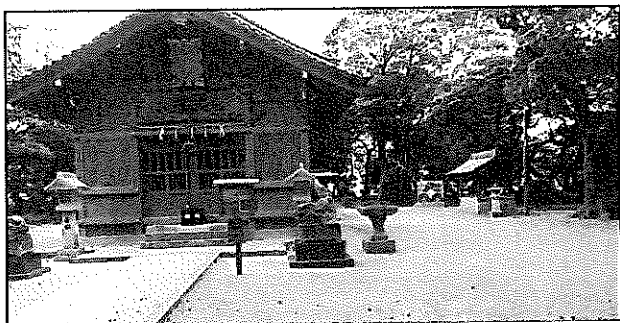
新町シニアクラブは、会員同士の親睦を深め、相互の融和を図り、生活向上と安心・安全を念頭にお互いに誠意を尽くし、健康で笑いの絶えない楽しいクラブとして今後も末永く活動をしていきたいと考えております。



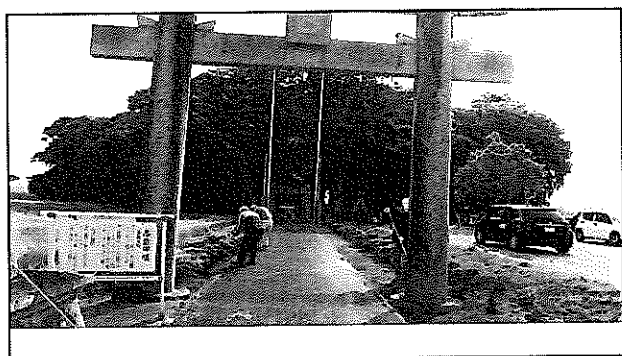
地域シニアクラブ活動発表

糸島市東風校区志登単位シニアクラブ

吉川 隆子

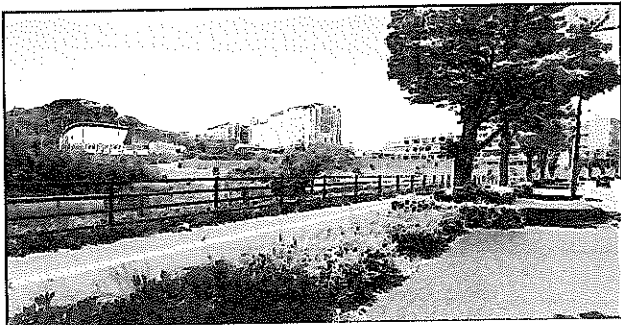


東風校区にある志登神社

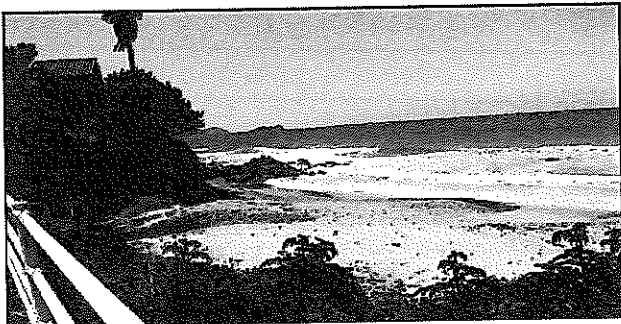




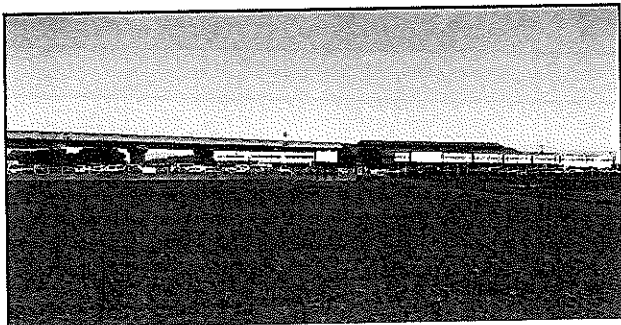
標高830mの井原山連峰



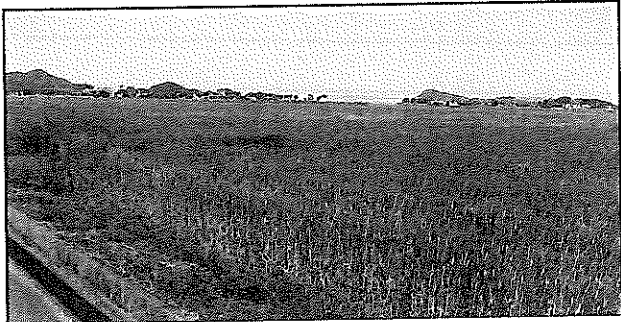
九州大学伊都キャンパス



玄界灘



売上高日本一の「伊都彩菜」



家の周りは緑いっぱい



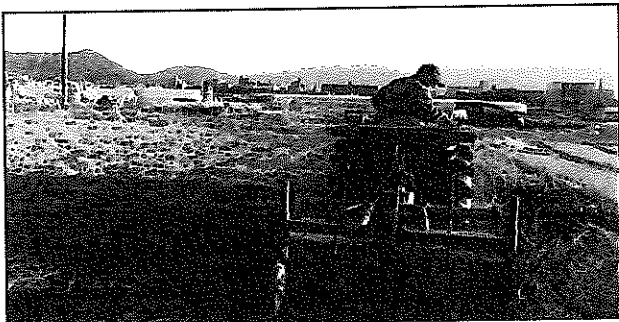
みんなでグラウンド・ゴルフ



境内掃除の後はグラウンド・ゴルフを楽しみます

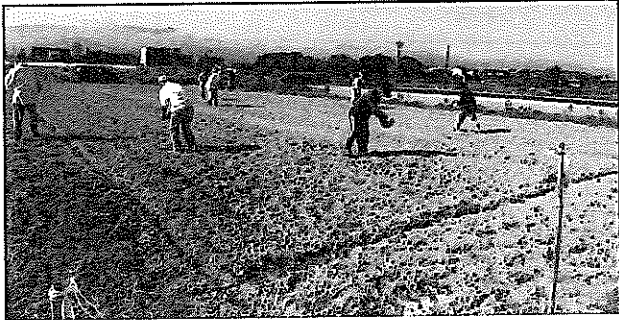


雑草に覆われた農地

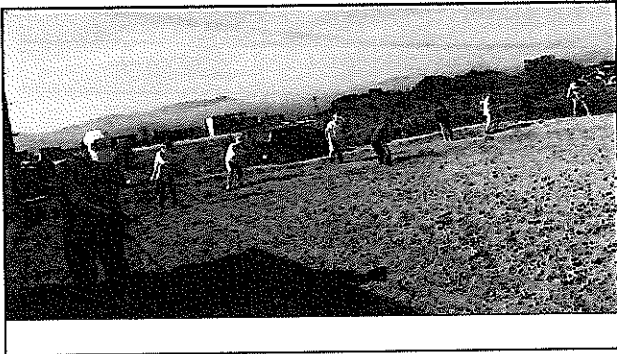


遊休農地280坪を無償で貸して下さました。





暑い中、コスモスの種蒔き





きれいな花が咲きました



地域の人から「シニアのコスモス」として慕われています。





コスモス栽培とグラウンドゴルフは志登シニアクラブの要です。

超高齢社会にシニアパワーを活かすには・・・

朝倉市安川地区老人クラブ連合会
副会長 塚本 憲子

○ はじめに

- 『 老いてなお 脳と筋肉 育てます 』
- 『 脳トレで 間違い探せず ストレスに 』
- 『 古希こえて 脳活筋活 励む日々 』

1 安川地区の概要

○安川地区は、南側を除き、三方向が山に囲まれ 自然環境に恵まれた農村地帯で小石原川の流れるに沿い、両脇に集落が点在している。集落の後ろは山が多い。そのため、集中豪雨による災害も発生しやすく2018年の九州北部豪雨災害以来毎年のように 山崩れ等の小規模災害が発生している。

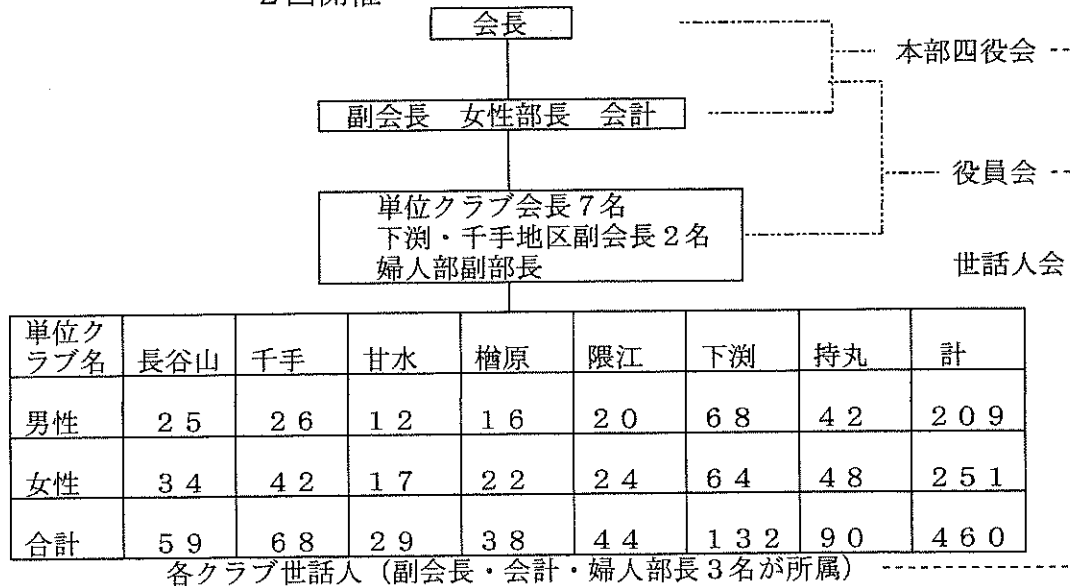
○ 安川地区 高齢化率 45.2% (前年度44.3%)
年少率 7.6% (前年度7.8%)

2 安川地区老人クラブ連合会の概要

○安川地区老人クラブは、7つの単位クラブがあり、各単位クラブごとに 会長・副会長・女性部長・会計等の世話人を選出し活動している。
○目的は、クラブの育成と会員の融和、健康、福祉の増進を図ることである。

○組織図

- 四役会・・・会長・副会長（女性部長兼務）2名・会計1名
役員会の前に会の企画案の作成・提案
- 役員会・・・本部四役・各単位クラブ会長6・千手・下淵地区の副会長
・女性部副部長1・・・月一回開催
- 世話人会・・・各単位クラブ会長・副会長・会計・女性部長で組織し、年2回開催



3 安川老人クラブ連合会の活動

月	活動計画	★公民館清掃	大学受講生
4月	役員会・総会	愛の一声運動計画	
5月	役員会	★	開講式 交通安全講話
6月	役員会・世話人研修会	★	
7月	役員会・会員日帰り研修会	★	お笑い講座
8月	役員会・女性部長研修会	★	法話
9月	役員会・G&G大会	★	社会見学(大分方面)
10月	役員会	★	歴史講座
11月	役員会	★	閉講式 映画鑑賞
12月	役員会		
1月	役員会・三社詣り		
2月	役員会・愛の一声運動活動報告		
3月	役員会・新旧役員会・会計監査 新旧役員並びに世話人総会		

①連合会活動・・・クラブの育成、研修並びに会員の融和、健康、福祉の増進を図る活動

- 本部企画実施・・・役員会・世話人会・日帰り視察 日帰り旅行 三社詣り 研修 役員視察研修 女性部研修
- 体育部会企画実施・・・健康増進と融和のために体育部主催グランドゴルフ大会・市・甘木支部支部老ク連G&G大会参加
- 文化部企画実施・・・老人大学講座への協力・安川C・甘木支部老ク連主催文化祭・夏祭りへの協力

②老人大学の活動・・・合言葉「健康で 明るく 楽しく 元気に」

- 受講生の心得・・・積極的に学び美しい敬愛される老人となり生きがいある充実した生活を送れるように努める
- 五月開講式～11月閉校式 年6回の講座 会費2000円
安川コミュニティより補助金10万 受講生80～90名

令和3年度の計画

○主な内容

5/21	開講式	講座1「高齢者の交通安全め法規改正」 朝倉警察署
7/8	講座2	お笑い講座NPO法人「博多笑い塾」
8/26	講座3	法話「一休さん」映画を交えて 専光寺住職
9/10	講座4	社会科見学「地熱発電所 九州電力八丁原発電所」

10/28 講座5 歴史講座「黒田長舒公～愛と慈しみの政治～」
 11/12 講座6 閉会式 映画鑑賞

○過去5年間の実績

年度	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
生徒数	107	110	94	87

4 課題

- コロナ禍における活動自粛
- 単位クラブでの役員選出についての問題
- 入会しふりと入会者の減および退会者の増加

5 課題解決の取組

① 意識調査による実態把握・・・役員世話人研修会

問1 入会時の意識

- ・強制的で教えの65歳になれば入会
- ・本人の希望により入会
- ・最近入会しない人や退会する人がふえている

問2 加入したことの利点

- ・いろいろな人と出会える
- ・外に出て交流することで目的意識が出てくる
- ・みんなとふれあい認知予防になる
- ・地域の中で多様な情報が得られる

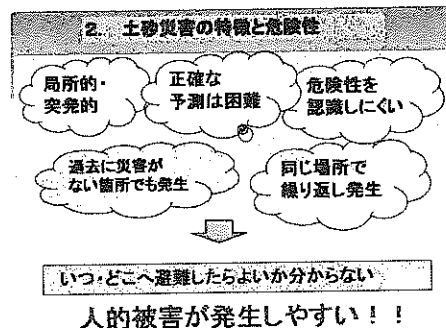
② コロナ禍における活動事例

【老人大学中止に伴う出前講座の実施例】

- ・各单位クラブへ出向いて講座を開催
- ・地域の課題解決に向けた講座

講座名「安川地区別自主防災について」

土砂災害から生命・身体を保護する。
 土砂災害の特徴と危険性
 甚大な被害例「九州北部豪雨時の被害」
 安川地区の七地区防災マップの提示



③ 単位クラブが支援するお茶の間講座の実施例

- ・身近なところで身近な人とのふれあい
- ・シニアパワー人材の活用・・・カラオケ・パソコン・手芸・茶道・アレンジフラワー・園芸・野菜づくり等

事例1 下瀬あじさい会「日帰り旅行・カラオケ大会」
 事例2 甘水ふれあい生き生きサロン「誕生会・貼り絵・七夕飾りづくり」
 ～ 歩いて行ける場所 みんな知ってる 笑顔で活動 ～

6 これからのシニアパワーの活かし方について

- ・老人会の中で、シニアパワーを持つ人を見つけ、発揮できる場をつくる
- ・誰かのために活動しているから自分のために活動しているへ・・・

○ おわりに

日本は、今まさに 高齢化社会（7%）高齢社会（14%）超高齢社会（21%）？